

# はぐくみ

## さ さ あ きょう と 支え合うまち・京都

### ほほえみプラン

ちゅうかんみなお ばん  
< 中間見直し版 >

#### わ かり や す い 版

このわかりやすい版は、「はぐくみ支え合うまち・京都ほほえみプラン」の

かんが かつ とりくみ だれ ないよう りかい  
考え方や取組について、誰にでも内容が理解できるよう、

わかりやすくまとめて紹介するために作成しました。

さくせい さい かんじ  
作成の際には、漢字にルビをふるだけでなく、

むずか ことば  
難しい言葉をわかりやすく言い換えたり、イラストも合わせて使用することで、

だれ  
誰にでもわかりやすいものとなりました。



# この計画について

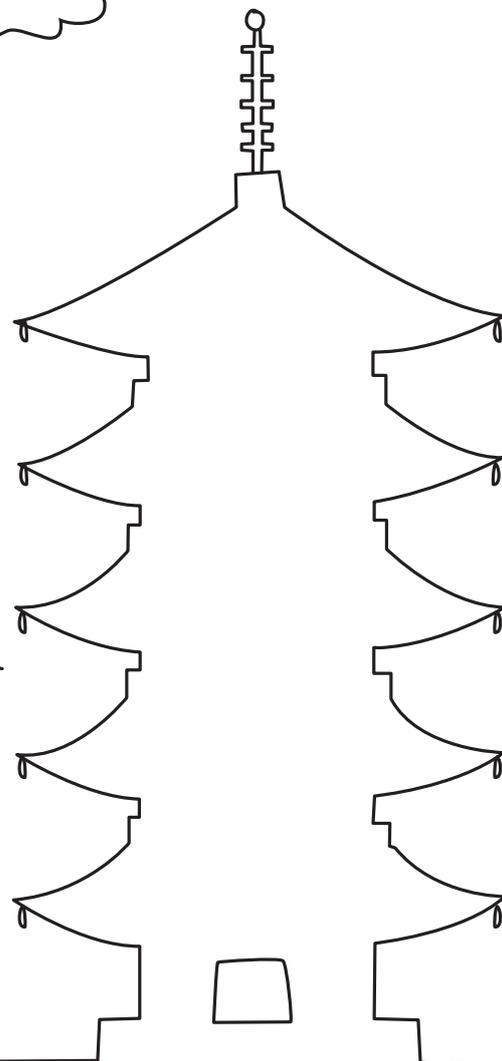
## 計画をつくった意味

- ➡ この計画は、障害のある人もない人もすべての人が、お互いをわかりあい、一緒に協力して暮らすことができる京都市をつくるために作りました。
- ➡ 「障害者差別解消法」という法律では、障害のある人に対して、正当な理由なく、障害があることで差別することを禁止しています。  
障害のある人から、社会の中で困っていることを伝えられたときに、負担が重すぎない範囲で対応することも求められています。
- ➡ 京都市では、今まで、障害のある人を手助けするため、福祉サービスのこと、健康に暮らすこと、働くことなど、たくさんの取組を行ってきました。

この新しい計画をつくることで、すべての人が暮らしやすい京都市を目指します。

## 計画の期間

- ➡ この計画は、平成30年度（2018年度）から令和5年度（2023年度）までの6年間に取り組むことが書かれています。



## この計画の考え方

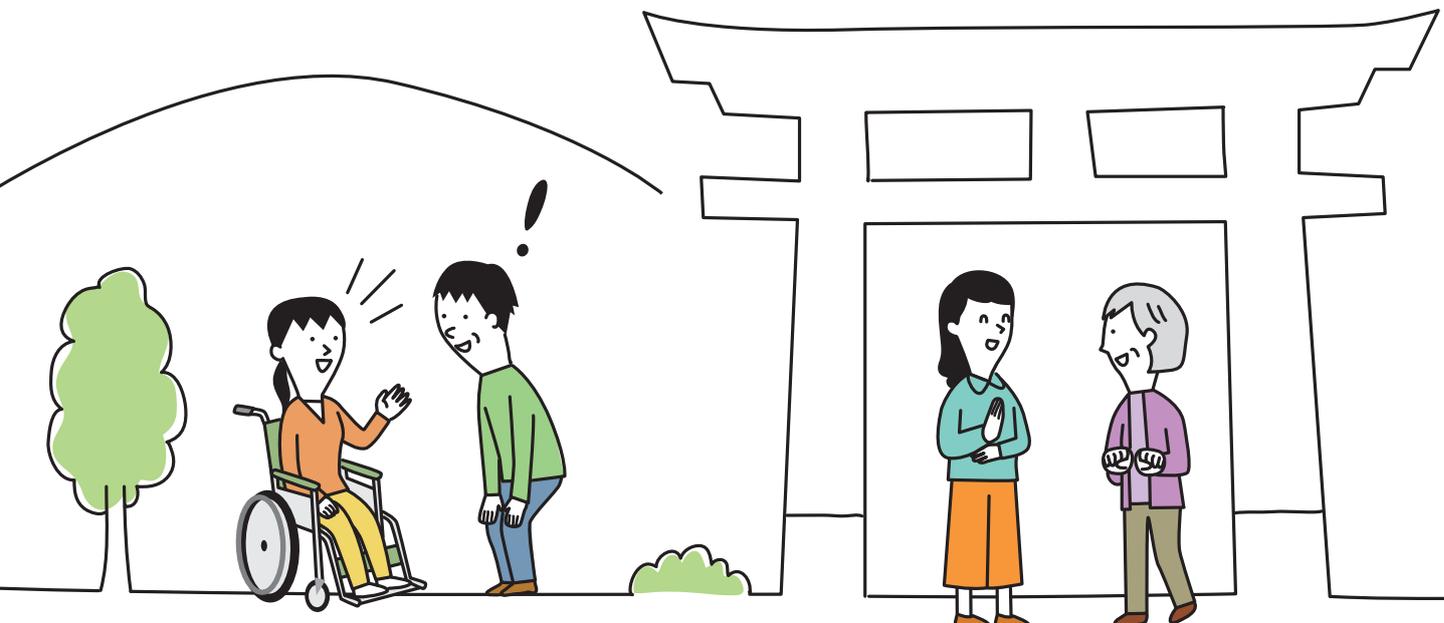
### いちばんたいせつ 一番大切なこと

障害のある人もない人も、すべての人が  
お互いをわかりあい、一緒に協力して  
暮らすことができる京都市をみんなで  
つくります。

### けいかく とりくみ すす かんが かんが 計画の取組を進める考え方

このような京都市をつくるために、次の5つの  
考え方に基づいて、取組を進めます。

- 1 障害のある人にわかりやすく情報を  
伝えたり、障害についての正しい知識を  
市民に広めたりして、障害のある人が  
暮らしやすいまちをつくります。
- 2 障害のある人が、住み慣れた地域で、  
自分らしく暮らすことができるようにします。
- 3 障害のある人が、安心して安全に  
暮らすことができるようにします。
- 4 障害のある人が、「こんな生活をしたい」、  
「働きたい」という思いや願いを  
もてるようにします。
- 5 障害のある子どもたちが、  
必要な手助けを受けながら、  
障害のない子どもたちと一緒に学び  
成長することができるようにします。



# この計画で取り組むこと

① 障害のある人にわかりやすく情報を伝えたり、障害についての正しい知識を市民に広めたりして、障害のある人が暮らしやすいまちをつくれます。

➡ 差別をなくす取組をもっと進めます。

➡ みなさんや家族が、困ったことを相談しやすくします。

➡ みなさんが情報を集めやすくする取組をもっと進めます。

★ 多くの困りごとを抱えている人や家族の支援を進めます。

★ みなさんが読書ができる取組を進めます。

② 障害のある人が、住み慣れた地域で、自分らしく暮らすことができるようにします。

➡ 福祉サービスの内容がもっと良くなるようにしていきます。

➡ みなさんが、自分らしく暮らせる手助けをします。

➡ みなさんが困ったときに、地域の人を手助けできる仕組みを考えます。

★ みなさんが安心して地域で暮らせる取組や周りの障害のある人に対する理解を広める取組をもっと進めます。

③ 障害のある人が、安心して安全に暮らすことができますようにします。

➡ 障害のもとになる病気やケガを防ぐ取組をします。

➡ ころの病気の人や家族の人の暮らしを手助けします。

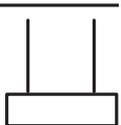
➡ 難病の人や家族の人の暮らしを手助けします。

➡ 住むところや道路や建物を使いやすしたり、電車やバスなどの乗り物を乗りやすくします。

➡ 地震や台風などの災害が起こったときに、みなさんに合った手助けができるように、日頃から準備をしておきます。

➡ いやなことを言われたり、無視されたり、たたかれるといった虐待をなくします。

➡ 自分で決めることが難しい人への手助けの取組をもっと進めます。





# この計画の目標

## <障害のある人に対する計画>

令和5年度が終わるまでに達成する目標	今の様子	新しい目標
入所している施設から地域へ戻った人の数	10人	32人以上
精神障害のある人が1年で退院できる割合	86.9%	92%以上
一般の会社で働く障害のある人の数	286人	364人以上

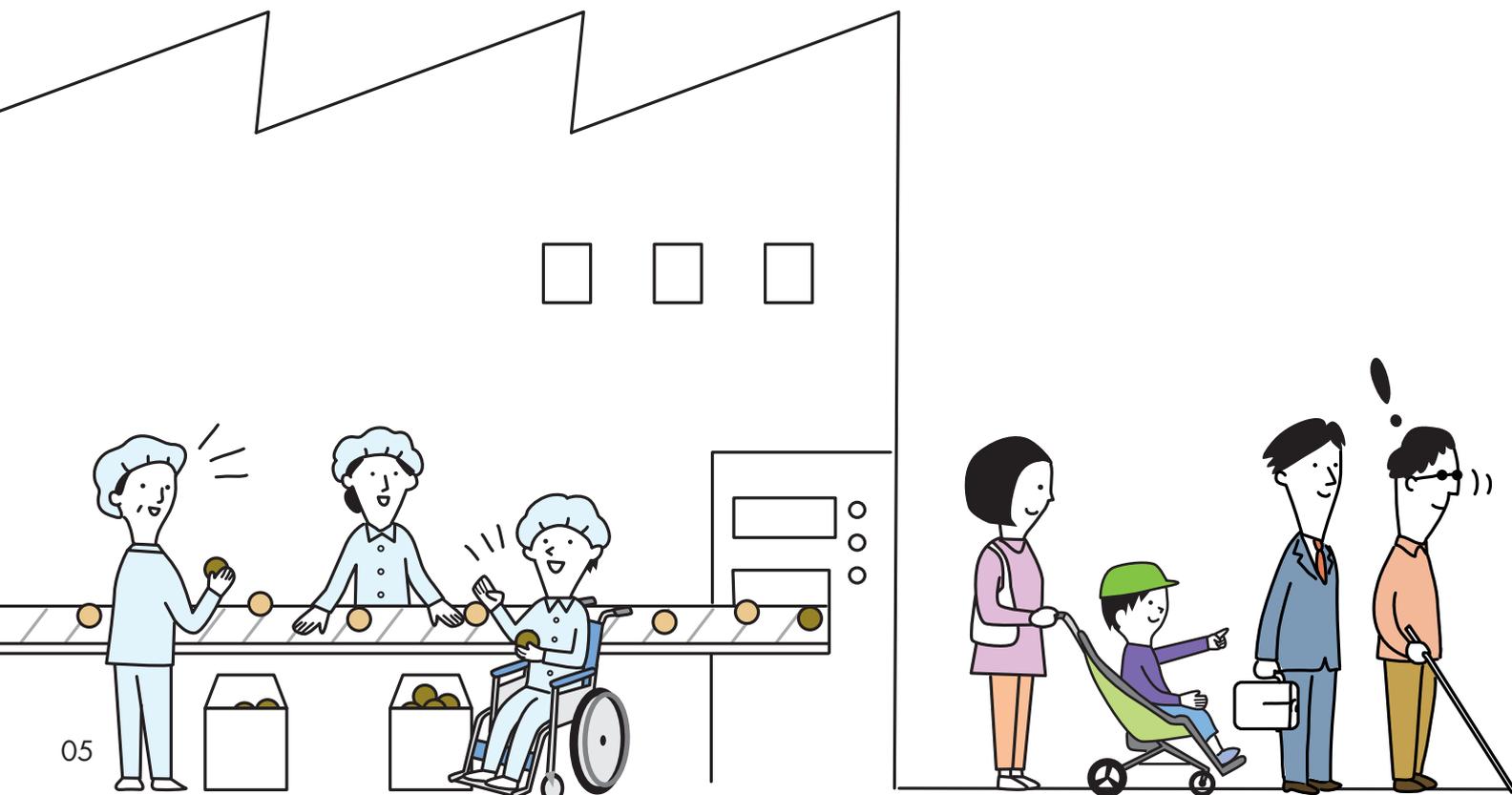
★みなさんが相談しやすい場所づくりをもっと進める

★障害福祉サービスの内容をもっと良くする取組を進める。

## <障害のある子どもに対する計画>

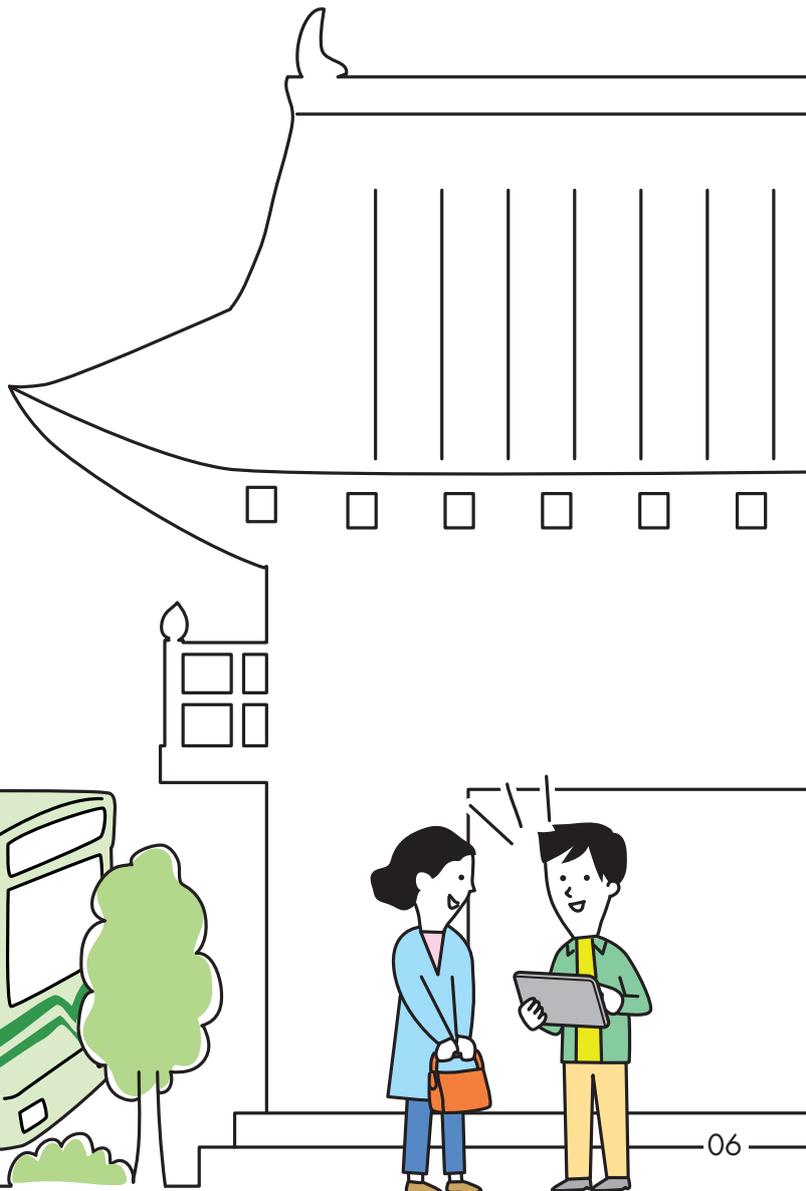
令和5年度が終わるまでに達成する目標
病気で手助けが必要な子どもを支えるための話し合いの場をつくる。

★耳の聞こえにくい子どもを支える取組を専門の施設を中心に協力して進める。



## この計画を進めるために

この計画に書かれた取組を、きちんと  
進めるために、市役所、障害者団体や、  
福祉サービスをする人など、  
いろいろな人が集まって、取組を点検します。



# はぐくみ<sup>ささ あ</sup>支え<sup>きょう と</sup>合う<sup>きょう と</sup>まち・京都 ほほえみ<sup>ばん</sup>プラン わかりやすい<sup>ばん</sup>版

～<sup>きょう と</sup>京都市<sup>し</sup>障害<sup>しょうがい</sup>者<sup>し</sup>施策<sup>し</sup>推進<sup>しんけい</sup>計画<sup>かく</sup>・<sup>だい</sup>第<sup>きょう と</sup>6<sup>し</sup>期<sup>き</sup>障害<sup>しょうがい</sup>福祉<sup>ふくし</sup>計画<sup>かく</sup>・<sup>だい</sup>第<sup>きょう と</sup>2<sup>し</sup>期<sup>き</sup>障害<sup>しょうがい</sup>児<sup>じ</sup>福祉<sup>ふくし</sup>計画<sup>かく</sup>～

れいわ ねん ねん がつはっこう  
令和3年(2021年)3月発行

きょう と し ほけんふくし きょくしょうがい ほけんふくし すいしんしつ  
京都市保健福祉局 障害保健福祉推進室

〒604-8006

きょう と し なかぎょう く かわらまちどおり おいけさが しもまる やちよう ばん ち わい じえい けい かい  
京都市中京区河原町通御池下丸屋町394番地 Y・J・Kビル3階

でんわ 電話 075-222-4161 ぶあつくす FAX 075-251-2940

きょう と し こ わかもの きょく こ わかもの みらい ぶ こ かてい し えん か  
京都市子ども若者はぐくみ局子ども若者未来部子ども家庭支援課

〒604-8171

きょう と し なかぎょう く からすまどおり おいけさが とら やちよう ばん ち  
京都市中京区烏丸通御池下虎屋町566番地1

いもんめい じ やす だ せいめい かい  
井門明治安田生命ビル2階

でんわ 電話 075-746-7625 ぶあつくす FAX 075-251-1133



ほほえみ<sup>ひろば</sup>広場マスコットキャラクター  
エミー

きょう と し いんさつぶつ だい ごう  
京都市印刷物 第023289号



京都市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

この印刷物が不要になれば  
「雑がみ」として古紙回収等へ!

